

第63回  
「写真の日」  
記念講演会

平成25年度の「写真の日」記念講演は、佐野史郎、平間至、吉原悠博の三氏を講師に迎え、日本における写真の歴史を担い続けてきた「写真館」を基調にお話をさせていただきます。

日時：5月31日(金) 14:00~16:30 (聴講無料)  
(受付) 13:30より  
会場：主婦会館プラザエフ 地下2階 クラルテ  
東京都千代田区六番町15番地 (03-3265-8111) JR四つ谷駅南口徒歩1分  
懇親会(会費6,000円)：同会館8階スイセンにて16:30~18:00  
\*聴講並びに懇親会への参加は、5月23日(木)までに一般社団法人 日本写真文化協会事務局(電話：03-3351-2463)宛、下記の返信用FAXにてお申し込みください。

## 第1部：吉原家の140年

東京を活動の拠点とする美術家・吉原悠博氏は、故郷である新潟県の新発田市に、戻ることはない、ましてや写真館を継ぐことなどできないと思っていた。しかし、ある日、実家の土蔵に眠る大量の写真を見、その写真の力に打ちめされる。まるで先祖に導かれるように、吉原家のルーツを探る旅を始める。(トーク&映像)



▲ 旧吉原写真館 1905年(明治38年)

◀ 祖業祝いの記念写真 1940年(昭和15年)

## 第2部：写真館に生まれて

仕事も生まれた場所も違う三氏が、写真館の家に生まれ育ったという共通点で意気投合した。写真館の文化と価値を熱く語る。



俳優  
佐野史郎氏  
(さの しろう)

1955年生まれ、鳥取県出身。  
1975年劇団シェイクスピアシアターの創立に参加。

1979年退団後、唐十郎が主宰する状況劇場を経て、1986年『夢みるように眠りたい』(林海象監督)で映画デビュー。

その後、数多くの映画・TV・舞台に出演するほか、2008年には東京ミッドタウンで写真展「あなたがいるから、ほくがいて」を開催するなど、その活動は多岐にわたる。

主催  
一般社団法人 日本写真文化協会  
関東写真館協会



写真家  
平間至氏  
(ひらまいたる)

1963年、宮城県塩釜市生まれ。日本大学芸術学部写真学科を卒業後、イジマカオールに師事。躍動感のある人物撮影や、音楽が聞こえてくるような作品により、多くのミュージシャン撮影を手掛ける。近年では舞踏家の田中淑子の「囁語り」シリーズをライフワークとし、世界との一体感を感じさせるような作品制作を追求している。

2006年よりゼラチンシルバーセッションに参加。2008年より「塩竈フォトフェスティバル」を企画。2009年よりレンタル補室&ギャラリー「PIPPO」をオープンし、ワークショップを企画する等、フィルム写真の普及活動を行っている。2008年京都造形芸術大学・客員教授に就任等、後進の育成にも力を入れている。



美術家  
吉原悠博氏  
(よしはら ゆきひろ)

1960年、新潟県新発田市生まれ。東京芸術大学油絵科卒業。在学中、ニューヨークのアートスクール Pratt Instituteへ留学。

1981年から2004年まで、東京とニューヨークを中心に活動。新しいテクノロジーと絵画の融合、音楽家とのコラボレーション等、それまでの美術のフレームを超えるダイナミックな作品を制作。また、パブリックアートとしてホテル、公共施設での作品設置、アートディレクションを勤める。

現在は、故郷である新潟県新発田市を活動の中心に移し、新潟の史実を題材とした映像作品を多数発表し続けている。

「吉原写真館」館主、美術家、現新潟大学非常勤講師、敬和学園大学非常勤講師、新発田市景観アドバイザー。

返信用 FAX 03-3353-3315 (ご出席の方のみご返信ください)

お名前： \_\_\_\_\_ 都道府県名： \_\_\_\_\_ ご連絡先TEL： \_\_\_\_\_

① 講演会： ご出席    ご欠席    ② 懇親会： ご出席    ご欠席    (①、② いずれもご回答ください)